

をお願いいたします。

- ・11月婦人会例会はありません
- ・ハーブの会11月28日(月)10:00オンラインで集います

◆青年会・献血担当： (㊟杉本真俊委員)

・献血呼びかけ11月18日(金) 10時

・献血ルームミュージズ集合

・青年会ひのきしん隊入隊 12/2〜4 詳細は担当まで

◆少年会…………… (㊟小田木智嗣委員)

10/30教区少年会総会が開催され、支部より会員7名、育成会員4名の参加。

◆広報庶務部・書籍： (㊟山口正洋委員)

・ふれあい折り込み12月は7組です。

・すきつと㊟ 12月1日発売 テーマは「今を生きる」定価660円 予約済みの方は11月末にお届け予定です。

・フォトブックVOL4 おやさと紅葉日より495円 発売中

・「子どものおたすけ 発達障害 不登校 虐待 イライラしない子育て法」¥1,870

◆時報手配り…………… (㊟澤田常和委員)

・11月手配りは11/16日号(11/10発送分)は合併号となるため手配りはありません。お間違いないようお願いいたします。

◆学生担当…………… (㊟森田直晃委員)

・12/4『静岡教区学生会のつどい』

内容 おつとめ・グループワーク 参加費500円 教務支庁13時30分開始 詳細は担当まで

◆11月 定例支部活動

◆合唱団アヴァンティ練習日
とき 2月・16日
会場 鴨江アートセンター (206号)

◆あらみち会…………… (㊟金原泰彦委員)

日時 22日(火) 9時15分〜12時
会場 元 濱 分教会
講話 宮本 善成先生
論議が発表されいよいよ年祭活動へ突入です。まずはあらみち会から勇み立ちましょう!

◆定例委員会・例会

◆運営委員会…………… 西大濱分

とき 12月2日(金) 9時30分

◆青年会献血…………… ミュース

とき 11月18日(金) 10時

◆12月 支部例会

コロナウイルス蔓延防止のため当面の間支部例会は休会とさせていただきます。

◆各組活動

【1組】…………… 組長 鈴木 豊司(濱 東)

〈配本・集金〉 11月28日(月) 濱 東

〈合同会議〉 12月 日() 00時00分 休会

〈ひのきしん〉 12月11日(日) 6時00分 浜松城公園

【2組】…………… 組長 渡邊英一郎(濱 松)

〈配本・集金〉 12月6日(火) 午前中 濱 松

【3組】…………… 組長 長田 虎夫(濱 都)

〈会長会議〉 11月29日(火) 10時 分 濱 都

〈班長会議〉 月 日() 15時00分 休会

〈ひのきしん〉 11月 日(日) 時 分 未定

【4組】…………… 組長 谷口 和幸(四日市浜)

〈合同会議〉 12月9日(金) 9時30分 四日市浜

【5組】…………… 組長 古山 慶仁(濱 宿)

〈会長会議〉 11月28日(月) 9時30分 濱 宿

【6組】…………… 組長 宮本 善成(長 上)

〈合同会議〉 12月 日() 時 分 休会

【7組】…………… 組長 太田 貴之(濱 名)

〈配本・集金〉 12月9日(金) 10時00分 篠 原

ふれあい

2022年 11月号 No.459
支部ともとよの遠西

どのよふな事もたん〜ゆてきかす
これをまこと、をむてき、ハゲ
第八号―24

台風15号被害を受けて災救隊の出動

支部災救隊長

水野 慎 治
(袖ヶ浦分教会長)

この度、台風15号による大雨の被害により、磐田市豊岡地区に教区災害救援隊として9月30日より、10月21日まで出動する事態となりました。

支部内から、隊員さんをはじめ、各教会の信者さん方も救援活動にご尽力いただき、ありがとうございました。

近年の気候変動によって、いつ何処で災害の被災者になるか、皆さんも感じているかと思えます。

今年、新年度から支部災救隊の役を受けた途端の、この度の災害出動となり、自分なりに思

案する時間もなかったと思う、今この頃です。

10月の大祭月、災救隊員のみなさん、忙しい月に入らな中での、神様は待った無しのタイミングだと、思いました。

実際現場に行ってみると、東日本大震災の記憶がよみがえってきました。

津波により、沢山の人命が奪われ、家屋が流され、変わり果てた街の姿に加え、悪臭、ハエの大量発生。

知人の話しによると、地元消防団として、津波が来る前に地域の人達を避難誘導し

ている際に、消防車が流されてしまった事。命から助かったと、当時聞きました。

今回の水害でも、家財が水に浸かり、使えなくなった物を、収集場所に運搬したり、床下の泥出作業をして、東北の災害の時と同じ臭いを感じました。

いつも、この辺は何も災害が起きなくて有難い、と言ってましたが、さすがに今回の被害を思うと、今後の対応策を、支部内でも話しあっ

ておかなければならないと思います。各教会の、地域の人々との連

携も、大切にしたいと思っています。



磐田市豊岡地区で作業の様子

静岡市清水地区も水害、断水が長引き、まだまだ片付けが進んでない状況と聞いていましたので、西部ブロック隊として、10月27日から、30日まで出動させていただきました。

私も、1日だけの参加でしたが、被災されたお宅の方から、「こんなに沢山の方が来てくれると思ってもみなかったです。有り難うございました。この事は、忘れません!!」との感謝の言葉をいただき、その一言を聞いて、勇み心で帰ってきました。現状では、清水地区は、まだまだ目標がたえない状況です。

この時句、出動の際は、みんなで勇み心で、救援活動をお願い致します。

*隊員以外の方で、ひのきしんにご参加頂ける方、ご連絡をお待ちしています。



伊藤芳正先生

おはなし

立教182年度〈陽気ぐらし講座〉

「幸せってどこにあるの!？」 (16)

根に繋がっているのは、不自由ですよ。雨だから、照る日だからといって、動くことは出来ない。繋がっているからこそ、匂々に花もつけ、実も成すんです。

繋がるということが、原理原則だということ、私たちはもっと、特におじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん方は、若い方たちに信念を持って伝えて頂きたいと強く思うのであります。

幸せの中心を、今ここに置くこと。そして、結ばれた縁は、縁として、ちゃんと大切に生きる。この二つの幸せの条件を、より積極的に生きていく生き方を、最後に一つ提案してお話を閉めさせて頂きたいと思えます。

それは、孤立して、幸せに生きづらくなっている人に、私たちの方から寄り添ってあげるといふ生き方があります。「大丈夫?」と言って、こちらから繋がってあげる、そういう生き方でありませう。

この生き方こそ、繋がってあげたこの方が、もう一度幸せを取り戻して行く事になりますし、不思議なことに、私たち人間の心は、自分以外の誰かの事を、一生懸命に

思った時に、自分の心には、とうに味わい忘れていた水面下にある幸せを、もう一度、どんと取り戻していく、私の心を幸せに循環していく、そんな不思議な作用が、人間の心にはあると思うんです。

私の家は、祖母の代から、教誨師活動という御用をお手伝いしています。刑務所に入った方の、心のケアをする仕事です。もうずいぶん古い話ですが、祖母が、名古屋拘留所で、32歳で死刑が確定した受刑者の担当になりました。どんなこともよく理解が出来る、頭の良い受刑者でしたが、たった一点、お父さんお母さんのお陰ということに話が進みますと、机を叩いて怒ったそうです。

「言ってるやろ。俺の前で、親のお陰などということは、絶対に言うな」「俺は、あの親父とお袋に育てられたせいで、30で死刑台に上がるような人間になったんだ」「死んでも、親を恨んでやる」と。こう豪語していた受刑者であります。

その受刑者と向き合って3年ほどしたある日、祖母が面会に行きましたら、祖母の顔を見るなり、その受刑者が、「うわあー」

と、男泣きに泣きましてね、そうして祖母に向かつて、「先生、長いこと、両親のことを逆らってばかり言って、すみません」「僕は今、毎晩この独房から、こんな犯罪者の息子を持ったがために、お父さん、お母さんは、どれほど肩身の狭い思いで暮らしておられるんでしょうね。本当に申し訳ありません、と毎晩、泣いてお詫びをしています」と言ったそうです。

昨日まで、「死んでも恨んでやる」と言っていた親に対して、「あんた、どうしてそんな心になれたんだ?」と祖母の方が聞きました。

するとその受刑者が答えたのは、「先生、忘れましたか? 半年前、僕の独房に桜文鳥のつがいを入れしてくれましたよね」「祖母は、どれほど言葉を尽くしても親のお陰を分かつたし、その受刑者に、一対の文鳥の命を委ねたんです。」「おまえは、この文鳥にエサをやり続けなかったら、文鳥は3日で死ぬよ」「あんたが、この文鳥に寄り添って、この文鳥の命を守つてやれ。尽くし切つてやれ」と、文鳥を委ねたんです。

(続く)

支部だより

立教185年 R4.11 NO.566

◇表統領挨拶

・明日は論達のご発布をいただき、その内容をしっかりと受けさせていただく日です。これを契機に年祭活動へと入っていきます。それぞれの教会や色んな場面で論達を読み込んでいただくことをお願いいたします。それぞれの受け止め方の違いもあると思いますので、それを話し合いながら、深めていただければ有り難いと思います。

・学生担当委員会

*「立教185年学生担当者大会」のご案内
来月25日午後1時より本部第2食堂で学生担当者大会を開催。

*「立教186年学生生徒修養会(大学の部)」「立教186年学生生徒修養会(大学の部)」は、3月4日から8日の4泊5日。また高校卒業生コースは、3月10日から12日の2泊3日で行う予定

*「立教186年春の学生おぢばがえり開催要項」道につながる学生が声をかけ合っておぢばに帰り集い、感謝の気持ち溢れる姿をご覧ください

喜びいただく。また真柱様から頂戴するお言葉を通して親の思いを心に治め、日々の生活を送る上での指針とし、さらに共に助け合いながら、次代を担うようべくへと成人していくことを誓い合う場とする趣旨で開催します。スローガンは「次代を担うようべくへ」です。期日は来年3月28日。内容は、式典、当日午前10時より本部中庭に於いて、真柱様よりメッセージを頂戴いたします。

伝えをさせていただきたく試みでいます。定価は1円値下げして一部15円の税込みで販売をさせていただきまします。

◇支部事項

◆布教部……………(㊟長田虎夫委員)

・論達にも親の思いをくみ取らせていただき、論達巡教を前向きに真剣に受けさせていただきます。

◆教務部……………(㊟吉岡弘和委員)

・年末調整の書類は1/6の年頭会議までにお願ひします。

◆災救援……………(㊟水野慎治委員)

・磐田市豊岡地区豪雨災害出動ありがとうございました。

◆婦人会……………(㊟木船真澄委員)

・第30回女子青年大会 11/27 10時
本部中庭 参加者が当日午前席を運ぶ場合は、7時30分〜8時まで受付をして下さい。(女子青年のみ) 8時を過ぎた場合は一般受付となります。引き続き丹精